



編集・発行

NPO法人日本バリアフリー協会／政策研究所

Japan Barrier-free Association

【事務局】〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801

TEL:03-5215-1485 FAX:03-5215-1735 E-MAIL:info@npjba.org

URL:http://www.npojba.org

Contents

目次

- 1・2 …… 代表コラム
- 3 …… NPO 活動報告、マスメディアによる放送・掲載の実績
- 4・5 …… 第11回ゴールドコンサート出場者紹介／司会者紹介
- 6 …… 応募状況
- 7 …… 関西予選会報告
- 8 …… ゲスト・審査員の紹介
- 9 …… ゴールドコンサート出場者関連イベント
- 10 …… GC10 ゴールドコンサートグランドチャンピオン紹介
- 11 …… 日比谷公園ブース、コンサート開催報告
- 12 …… 厚生労働省委託事業報告
- 13 …… 第11回ゴールドコンサート協力者の皆様
- 14 …… 10周年記念ゴールドコンサート協力者の皆様
平成25年度競輪補助事業完了のお知らせ
- 15 …… ボランティアスタッフ募集のお知らせ
- 16 …… 第11回ゴールドコンサート開催概要

東京オリンピック・パラリンピック 2020 に向けて 3つの柱

1 パラリンピックの開会式の音楽を



写真1
関西予選会で舞台挨拶

まだ6年後だと思っ
ても案外早くやってくる
のではないのでしょうか。

私の思いは、まず、日本の
障がいをもつミュージシャン
に、パラリンピックの開会式
の音楽を担ってもらいたい
ということです。

世界の障がい者のスポーツ
の祭典を日本の障がい者が支
援し、その姿を世界に見せることにより障がい者の自
立の必要性を多くの人に理解してほしいです。

さて、本年10月13日(月・祝)に開催します第
11回ゴールドコンサート(障がい者の音楽コンテス
ト)においては、わくわくするような若い才能が集まっ
ています(4、5ページ参照)。

これまでは音源のみの募集でしたが、今回は初め
て予選を行ないました。4月に大阪で関西予選会を開
催したところ、13組の出場者が関西を中心に集まり、
北海道、沖縄からの出場もありました。その結果1組
の出場者が決定しました。

今後も、私どもが主催します「ゴールドコンサート」
においては、障がいをもつミュージシャンの才能を発
掘することに力を入れていきます。そして、彼らがパ
ラリンピックの開会式で演奏するチャンスがあれば何
よりです。



関西予選会(スポニチプラザ大阪 2014年4月19日)

2 「トウキョー・アクセシブルノート 2020」

次に、オリンピック・パラリンピックをきっかけに
海外から多くの障がい者に来日してほしいという思い
があります。

世界で最もバリアフリーの首都、東京にきてもらっ
て、観光をしてもらいたいです。多くの一般の日本人は、
「東京はバリアフリーが遅れている」

といいますが、実は歩道、交通機関、複合施設など
公共性の高いものは、世界の首都の中では、最もバリ
アフリー化が進んでいます。雑居ビルの小さな店舗は
確かに遅れています。ただ、全体として店舗数が非常
に多いので、率は低くても入れる店舗は意外と多いの
です。

日本人が間違った認識をしているわけですから、海
外の障がい者も正確な情報が得られていないと思いま
す。

そこで私は、フェイスブックにページ(写真2)を
作り、東京のバリアフリーの良さを英語で発信する

ことにしました。名付けて“Tokyo Accessible Note 2020”です。内容は、私自身が東京で行くところの建築物のバリアフリーの状況をレポートするもの。まだまだ始めたばかりで記事も少ないのですが、他の方にも投稿してもらい立体的なページにできたらいいと思っています。

海外から障がい者が来て日本を観光すると、いかに日本人の障がい者が外出できていないかということがわかります。ただ街をバリアフリーにするだけでなく、車いすであったり介護であったり利用者本位のサポートシステムがないと、社会参加は難しいことに人々が気付きます。

また、海外から障がい者が来日すると、多くの場合、介護者がつきます。介護者にはその国の政府が給与を払うことになります。そのような介添え者もホテルに泊まり、食事をし、おみやげを買うことになるので、日本にとっての経済効果は非常に大きいことも付け加えておきます。

皆さん、「いいね」をお待ちしていますので、よろしくをお願いします。



写真2 “Tokyo Accessible Note 2020”のページ

3 車いす席と、合理的配慮

昨年度、厚生労働省委託の「舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の課題と提言」という調査を行いました。

その中で、車いすで舞台芸術を鑑賞する際、どのように席配分をするのが公平なのか提案しました。スポーツ観戦においてもほぼ同じことがいえます。提案の趣旨は、

「車いすで鑑賞できる席区画を、一般席と同様に事前に購入できるものとする」

「その際、席区画の設置数は、S席やA席といった席種ごとに車いす人口比に沿ったものであること」

ということです。いたって単純ですが、実は現在わが国においては、ほとんどの場合、

「事前に席区画を購入できず、席種を選ばなく、付添

1名しか同席できない」

という仕組みになっています。公平からは程遠い現状です。

これから建築、改築するオリンピックの競技会場をバリアフリーにして、車いすで鑑賞できる席区画を設置するのみによっている人々が多いと思いますが、「公平」にするための基本的な仕組みの必要性を皆さんに認識してもらいたいと思います。

ゴールドコンサートにおいては、10年に渡り実験的にさまざまな席配分を行ない、ノウハウを蓄積してきました(写真3)。

平成28年に施行される「障害者差別解消法」の中には合理的配慮の規定があります。これは、障がい者が健常者と同じようにサービスを利用できるようにするために必要な配慮のことです。

車いす席区画の設置をはじめ、手話通訳やパソコン要約筆記(写真4)、点字、などの配慮がこれに当たると言われています。

この点を含めて、舞台芸術鑑賞やスポーツ観戦における合理的配慮のあり方について今後提言していきたいと考えています。

それでは皆様、第11回ゴールドコンサートでお会いできることを楽しみにしています！

代表理事 貝谷嘉洋



写真3 多数の車いす区画(ゴールドコンサート)



写真4 合理的配慮の例：手話と文字通訳(ゴールドコンサート)

NPO活動報告 (2013年12月～2014年6月)

2013	12月7日(土)	GC グランドフェスティバル0 を開催@大さん橋ホール (横浜港)
	12月11日(水)	日本フィランソロピー協会贈呈式にて第9回ゴールドコンサート (以下、GC) グランプリの佐藤英里さん奨励賞受賞@学士会館
2014	1月21日(火)	若田宇宙飛行士国際宇宙ステーション交信イベントに代表が「宇宙と運動」に参加 @筑波宇宙ステーション
	1月24日(金)	GC 総合企画会議開催 参加人数 26名
	2月19日(水)	厚生労働省ワークショップ開催 講師:小澤綾子さん、山田賢明さん
	2月20日(木)	平成25年 JKA 優秀選手表彰式に代表が参加、GC9 グランプリの佐藤英里さんが出演
	3月15日(土)	ゴールドコンサートもフュージョンマーケットがあれば雨が降って風が吹いたら日比谷公園でハッピーになれるかも (日本財団・日本音楽財団・厚生労働省助成事業) @日比谷公園噴水前広場
	3月31日(月)	厚生労働省 平成25年度障害者総合福祉推進事業採択「舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の課題と提言」事業終了
	4月15日(火)	“2020年 東京オリンピック・パラリンピック” 平成プロジェクトとして貢献を考える会に参加 @NHK 放送センター
	4月16日(水)	アドビシステムズ株式会社オールハンズミーティングにて、GC7 グランプリ穴澤雄介さん、GC9 グランプリ佐藤英里さんが出演@品川グランドホール
	4月19日(土)	GC11 関西予選会を開催。GC6 グランプリ、GC10 グランドチャンピオン山下純一さんが特別出演 @スポニチ PLAZA 大阪
	4月30日(水)	慶應義塾大学日吉校舎において、代表が講演
	5月14日(水)	東京都立光明特別支援学校において、代表が講演、GC7 グランプリの穴澤雄介さん演奏
6月18日(水)	第2回アネモネセミナー開催 講師:上原大祐さん	

マスメディアによる ゴールドコンサート出場者募集の 告知放送、掲載

主なメディアの掲載

- NHK 総合
平成25年12月9日(月)「おはよう日本」
平成25年12月9日(月)「ひるまえほっと」
- 読売新聞
平成25年10月27日(日) 神奈川県版朝刊
平成25年12月8日(日) 神奈川県版朝刊
以上、GC グランドフェスティバル0 について

テレビ・ラジオ

- NHK 総合
- NHK 各局 (広島、高松、高知、鳥取、徳島、富山)
- SUN テレビ
- KBS 京都ラジオ

※法人が把握している告知放送、掲載のみを記載しています。

新聞

- 毎日新聞
- 読売新聞
- 東京新聞
- スポーツニッポン
- 山梨日日新聞

雑誌・機関誌など

- 月刊ニューメディア 2月、5月号
- 一日も早く No.280
- すべての人の社会 No.405
- 福祉広報 NO.663
- 公募ガイド vol.332
- にってんデイジーマガジン 3月号
- 教育音楽
- 邦楽ジャーナル 3月号
- ミュージックトレード 3月号
- ニュースレターぶちあみ
- みんなのねがい

インターネット

- Yahoo! ニュース
- スポニチアネックス
- CD ジャーナル

第11回ゴールドコンサート出場者決定！！

昨年の10周年記念大会から、また新しい一歩を踏み出し、東京国際フォーラムホールCにて10月13日(月・祝)に第11回ゴールドコンサートを開催する運びとなりました。初の関西予選会と、全国各地から寄せられました音源応募作品を合わせ、延べ94件の応募総数となり、今回も多くの個性あふれる作品が寄せられました。ご応募いただいた皆さま、誠にありがとうございました。厳正な審査の結果13組が本戦出場と決定いたしました。

特別ゲストにHAND SIGNさん、10周年記念ゴールドコンサート、グランドチャンピオンの山下純一さんの出演も予定しております。

皆さま、お誘い合わせの上、是非ご来場ください。お待ちしております。

出場者名 **かしわもち かずと** 《ギター・ボーカル》

曲名：旅するかしわもち

障がい：視覚

地域：兵庫

応募者PR ▶ 先天性の網膜の病気で生まれつき目が見えません。小学3年生のときに独学でギターをはじめました。

その頃、たまたま会話の中で聞いた嘉門達夫さんの「チャラリー鼻から牛乳～」というフレーズに興味をもち嘉門さんの曲をコピーをするようになりました。

嘉門達夫さんのように楽しい歌をうたってみなさんに元気パワーを届けたいです。

出場者名 **YOUTA** 《ピアノほか》

曲名：ENDROLL

障がい：視覚

地域：富山

応募者PR ▶ 天性の音楽好きで、キーボードとラジカセをおもちゃに育つ。4歳で電子オルガン、中学生で作曲とバンド、16歳でピアノを始める。

2007年春、ふるさと富山を拠点に、作編曲家・ピアニストとして活動を開始。グループやソロでの創作・演奏活動の傍ら、音楽イベントの企画やアマチュアバンドへの参加を通して、地元音楽界の発展と地域文化の活性化にも取り組む。

「元気になる音楽・希望に満ちた音楽で、皆さんの心をキラキラと光り照らし、たくさんの夢を運びたい。国境も人種もなく、ジャンルやテクニックも関係ない・・・私たちの中のあらゆる垣根を取り払い、純粋な想いを音楽にのせて、心から心へ届けていきたい」という想いのもと、マルチな才能を活かして、多方面で活躍中。

出場者名 **我如古 盛健** 《三線・ボーカル》

曲名：月ぬかいしゃ

障がい：肢体

地域：沖縄

応募者PR ▶ 30代で難病の神経原性筋萎縮症を発症。歩行や会話等が困難になる。医者に回復困難と診断され、筋力が衰えていく恐怖と闘いながらも前向きに音楽活動を行う。車いすで各地の施設、学校等を訪問しボランティアでライブを行う。その数年間60カ所以上、県内に止まらず神奈川、宮崎と精力的に障がい者の社会参加・自立を目指し活動する。自然発生的に障がい者や支援者が集まりケントミファミリーとしてボランティア活動を拡大、障がい者の住み良い社会づくりに邁進する。その功績が認められ平成25年度のコロニー大賞を受賞する。苦難を乗り越えて魂の底から奏でる唄と三線は聴く者に感動を呼ぶ。

出場者名 **上州ろう太鼓・心響** 《和太鼓》

曲名：響楽

障がい：聴覚

地域：群馬

応募者PR ▶ 2001年に結成し、聴覚障がい者をメインとし、群馬県太田市を拠点に活動する和太鼓集団。

「上州」は「群馬県」、「ろう」は「聞こえない・聞こえにくい」、「心響」は「響き合う心と心」という意味が込められています。現在、会員は21名おり、そのうち聴覚障がい者が13名、健聴者が8名います。

活動目的としては、聴覚障がい者の理解を深め、可能性をアピールする為に、福祉団体などの各種行事、地域や企業の祭り、福祉施設慰問、学校関係での人権学習講演など、いろいろな所で演奏や講演をしています。

夢は海外公演。実現する事を夢見て、様々な活動をしています。

出場者名 **矢作 文香** 《ボーカルほか》

曲名：Your Love

障がい：肢体

地域：東京

応募者PR ▶ 7歳の時に交通事故で右手を失い、自信を無くした自分に唯一自信を持たせた事が音楽でした。

音楽を通じて皆に元気をあたえられたらと思います。



出場者名 **野田 あすか** 〈ピアノ〉

曲名：思いやりの風

障がい：発達・肢体・聴覚

地域：宮崎

応募者 PR ▶ ピアノバラリニック in カナダにて、銀メダルを受賞。

そののち、テレビドキュメンタリーにとりあげられ、活動の幅が広がり、ソロリサイタルを開催。その後、「こころのおと」と題して、イベントや施設で演奏しています。

出場者名 **まえぼん** 〈ボーカルほか〉

曲名：夢のチカラ

障がい：視覚

地域：東京

応募者 PR ▶ 都内を中心にライブ、音楽ボランティア、講演会など行っています。福祉施設、小ノ中学校、大学等に伺っています。5周年記念ゴールドコンサートで唄った「Kokoro ♥ Candy」で2010年10月にメジャーデビューしました。スマートフォンラジオ「まえぼんのラジぼん！」オンエア中！！あなたの街で唄わせて下さい。

出場者名 **久保 ∞** 〈ギターほか〉

曲名：Blaze up

障がい：肢体

地域：東京

応募者 PR ▶ 脊髄損傷ギタリスト久保正晃、ヒップホップユニット inner thoughts、DJ Kaz-y がコラボレーションするロックサウンド。一人ひとりの個性が際立つユニットであり、都内を中心に活動しています。

出場者名 **iku** 〈エレクトーン〉

曲名：夜降桜 (サクラフルヨル)

障がい：発達

地域：秋田

応募者 PR ▶ 昔から、ちょっと変わった子どもでした。生きづらさは年齢を重ねるとともに大きくなり、27歳で広汎性発達障害という診断を受けました。少しでも生きやすくなるように、試行錯誤を繰り返す毎日です。

学校時代は合唱部に所属し、ピアノやエレクトーンを習っていましたが、社会人になってからは音楽から遠ざかっていました。診断後、あるきっかけでエレクトーンで作曲を始めました。コミュニケーションが苦手な私ですが、曲が言葉にならない気持ちをみんなに伝えてくれています。私らしい曲を、マイペースで作り続けていこうと思っています。

出場者名 **矢田 匠** 〈ギター・ボーカル〉

曲名：故郷

障がい：聴覚・内部

地域：北海道

応募者 PR ▶ 先天性外耳道閉塞症・小耳症のため、右耳の聴力がありません。幼少に習っていたピアノがきっかけで、どんどん音楽にのめり込み、今は音響・レコーディングエンジニア等の耳を使う仕事をしています。どうしてもハンデを感じてしまう場面はありますが、大好きな音楽にいつも触れていられる事への感謝の気持ちで、毎日頑張っています。

自身も音楽活動をしていましたが、数年前にバセドー氏病を発症し、思うように歌えなくなり、最近是指の麻痺も出てきてますが、体調の様子を見ながら、ペースを落としつつも、のんびりと演奏を楽しんでいます。

出場者名 **佐藤 翔** 〈ドラム〉

曲名：ドラムパフォーマンスー爆裂ー

障がい：視覚

地域：東京

応募者 PR ▶ 2002年生まれ小学6年生。生まれつきの全盲です。ピアノは4才から、ドラムは5才からレッスンを受けています。音楽大好き。学校の授業が全部音楽だったらいいのにな。ドラムは僕の体の一部。僕の体からあふれ出る音楽を受け取って下さい。

2011年ヘレンケラー音楽コンクールピアノの部低学年の部1位。2012年同コンクールピアノの部高学年の部1位。他、同コンクール入賞多数。

出場者名 **Yoppy** 〈ギター・ボーカル〉

曲名：STRAY DOG

障がい：精神

地域：新潟

応募者 PR ▶ 18歳で統合失調症と診断され、精神科病棟に計8回の入院。20代の半分以上を入院生活についやす。

30代になって、精神病患者が通う作業所に行きながら、音楽活動を本格的に開始！現在、場所を選ばず様々な所でギター弾き語りをする。



司会者紹介

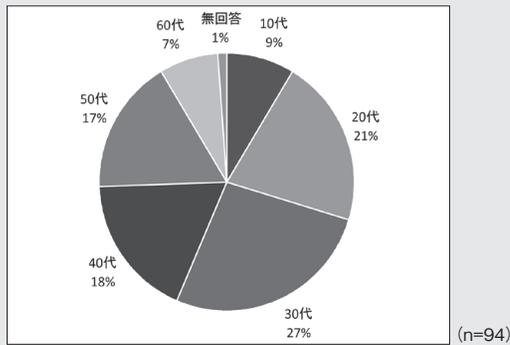
村松 加王里 (フリーアナウンサー)

相羽 崇巨

応募状況

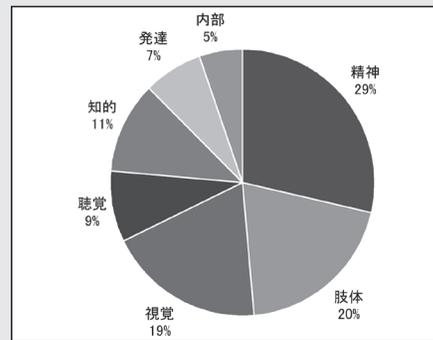
2014年2月1日(土)～5月7日(水)までの期間に関西予選会、音源エントリー合わせて94件の応募が寄せられました。ジャンルもポップス、クラシック、ロック、ジャズなど多岐にわたります。

1. 応募者の年齢



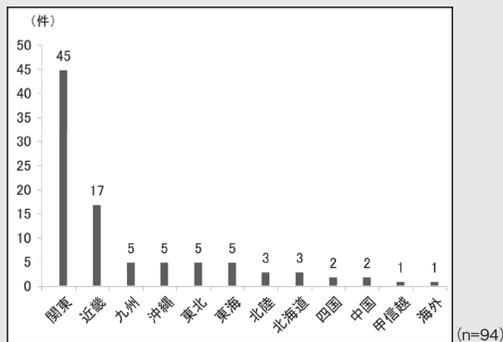
例年通り、30代の応募が多くトップ。しかし、10代、20代と若い世代の応募も増えています。

2. 障がいの種類



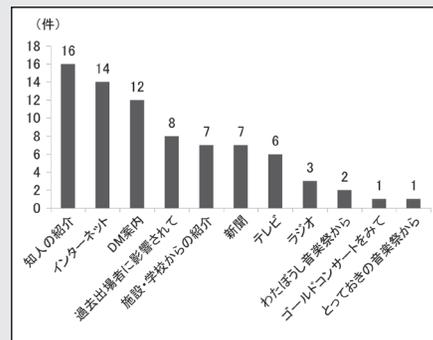
例年では視覚障がい者が多い中、今年は精神障がい者がトップ。また聴覚障がい者が例年の倍に増えています。

3. 応募者の出身地



例年通り関東(主に東京)からの応募がトップとなりましたが、九州、沖縄からの募集が増えて来ています。

4. 応募のきっかけ

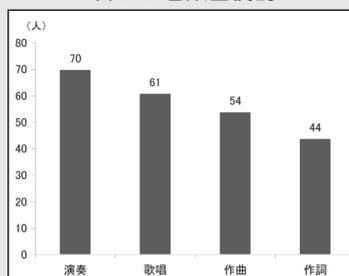


例年はDM案内からの応募が多いですが、今回はインターネット、知人からの紹介の方が多くなりました。

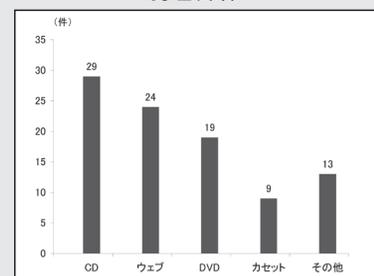
5. 応募曲について

オリジナルが7割を超え、作詞・作曲を行う障がい者は半数を超えています。録音媒体についてはCDが最も多いですが、いまだカセットでの応募も1割あります。

障がい者楽曲役割



録音媒体



(n=94)

第11回ゴールドコンサート 関西予選会報告

4月19日(土) スポニチプラザ大阪にて開催

応募 14組 (1組棄権)

北は北海道から、南は沖縄まで全国から大阪に集結。
本戦への出場を決定された方は次の通りです。



応募者名：我那古 盛健 さん
曲 名：月ぬかいしゃ
地 域：沖縄
障 が い：肢体障がい
パ ー ト：三線、ボーカル



背景

障がい者の社会参加は広がりつつあり、音楽活動もその1つとして注目されています。

当法人は、これまで毎年全国のNHK地方各局の協力を得て、障がいをもつ音楽家に呼びかけ音源を募集し、応募された約100組のうち審査を通過した約10組による東京国際フォーラムでの音楽コンテストを10年に渡り開催してきました。その結果複数の音楽家がプロとして活躍しています。

しかし、ここ最近の傾向として東日本、特に関東圏に応募が集中してきており、そこで厚生労働省の委託を受け調査したところ、その理由として特に中・西日本地域で、移動が困難であることや、長時間付き添える介添え者が少ないために、上京できないという状況が分かってきました。



目的



東京を中心とした東日本だけでなく、中・西日本地域の障がいをもつ音楽家の音楽活動の幅を広げるために、関西でもコンテストを実施し彼らの移動や介助に関わる負担を少なくし、より多くの障がいをもつ音楽家の発表の可能性を広げ、観覧する多くの人々に障がいに対する捉え方をポジティブなものにし、地域の障がい者の自立および地域の活性化を目指していきます。

助成：公益財団法人日本社会福祉弘済会

審査員長：

仲川 一昭

(福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響」代表・指揮者)

審査員：

酒井 靖 (一般財団法人たんぼほの家 エグゼクティブディレクター)

厨子 雄二 (スポニチプラザ大阪 総支配人)

山下 純一 (第10回記念ゴールドコンサートグランドチャンピオン、

第6回ゴールドコンサートグランプリ) ※ゲスト含む



特別ゲスト・審査員の紹介

特別ゲスト **HAND SIGN** (所属：オスカープロモーション)



profile プロフィール

テレビドラマを見て手話に興味を持ち、その時好きだった歌を手話しながら踊ってみようと思ったのがきっかけで2005年、手話を取り入れたエンターテインメントグループ「HAND SIGN」を結成。様々な舞台でのパフォーマンスを経験し、数多くのコンテストでも優勝・受賞を重ねる。

2009年にはNew YorkにあるApollo Theaterにて開催されているAmateur Night出演、オーディションに合格。念願のAmateur Nightに七度出演し、二度の優勝に輝く。2010年にはAmateur NightのOpening Nightに出演などNew Yorkでも活動経験を積み、正式にアポロシアター公認パフォーマーと認定される。

帰国後は、「EXILE魂(TBS)」や「スッキリ!!(NTV)」など様々なテレビ番組にも出演。

2012年にはカンボジアへダンス交流支援活動を行い、2013年にはブルガリアで開催されたデフリンピックの日本選手団の応援ソング「DREAMSTAGE」を制作し、認知度を高めるプロジェクトに参加し一役買った。今年は神奈川県内中高50公演プロジェクトを行っており、エンターテインメントの角度から若い世代に“手話”と“ダンス”の素晴らしさを伝えている。

Message メッセージ

いままで私たちは聴覚に障がいを持たれている方と、パフォーマンスを制作したり、一緒にステージに立つことがあります。いつも感じさせてくれるのは、努力は障がいの壁を越え、多くの人に勇気や感動を与えてくれるということです。

ゴールドコンサートの出場者は障がいを感じさせないクオリティーの高い内容ということを多方面から聞いております。当日、皆様の演奏を生で体感できる事がとても待ち遠しいです。

私たちも出場者の皆様から音楽のパワーをもらい、会場がひとつになれるパフォーマンスをお届けしたいと思っております。



HAND SIGN HP

<http://www.hand-sign.com/>

審査員

審査員長 湯川れい子 (音楽評論家・作詞家)

副審査員長 吉岡 正晴 (音楽評論家)

審査員 阿部 恒世 (元 WAWAWA 編集長)

工藤 由美 (音楽ジャーナリスト)

仲川 一昭 (福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響」代表・指揮者)

萩原 岳 (ナレーター、メディア・エンタテインメント・販売コンサルタント)

吉田 聡志 (株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント 取締役 著作権部長)

ゴールドコンサート出場者関連イベント

ゴールドコンサート(以下、GC)に出場されたミュージシャンの方々が各地で活躍されています。その内容の一部を今回ご紹介いたします。

厚生労働省ワークショップ

日時: 2014年1月24日(金) / 19時30分～
会場: 株式会社メディカルフォーラム会議室 / 千代田区
出演: 穴澤雄介(GC7 グランプリ)、山田メイ



日時: 2014年2月19日(水) 19時～
会場: 株式会社メディカルフォーラム会議室 / 千代田区
出演: 小澤綾子、山田賢明



GC11 関西予選会 (ゲスト出演)

日時: 2014年4月19日(土)
会場: スポニチプラザ大阪 / 大阪心斎橋
出演: 山下純一(GC10 グランドチャンピオン、GC6 グランプリ)

光明特別支援学校「放課後スクール」

日時: 2014年5月14日(水)
会場: 光明特別支援学校 / 世田谷区
出演: 穴澤雄介(GC7 グランプリ)



第14回とっておきの音楽祭2014

日時: 2014年6月1日(日) / 10時30分～19時30分
会場: 仙台市内各会場
出演: 山下純一(GC10 グランドチャンピオン、GC6 グランプリ)
(当法人 協力)

アネモネセミナー (障がいをもつ方々を講師にお招きして、トークや音楽を通して関係者と交流を図るセミナーです)

日時: 2014年6月18日(水)
19時～
会場: アネモネカフェ / 当法人会議室
出演: 上原大祐



佐藤英里 全国 CD デビュー決定

2013年のゴールドコンサートでは「かぞくのうた」で、第3位を獲得した佐藤英里さんが、全国 CD デビューすることが決まりました! レコーディングは夏休みに行われ、年内には、シンコーミュージック・レコーズよりミニ・アルバムとしてリリースされます。収録曲は今まで歌ってきた「みらい」「かぞくのうた」「アメイジング・グレイス」等に加えて、オリジナルの新曲も収録される予定です。

アドビ システムズ 株式会社 関連イベント

2013年10月29日(火)、11月7日(木)に開催された、アドビ システムズ 株式会社主催イベントに、大石亜矢子さん(GC5)、2014年4月16日(水)に行われた、アドビ システムズ 株式会社オールハンズミーティングに、穴澤雄介さん(GC7 グランプリ) 佐藤英里さん(GC9 グランプリ) が出演しました。

10周年記念ゴールドコンサート(2013年) グランドチャンピオン受賞 山下 純一 紹介

プロフィール

盲目で車椅子のミュージシャン



山下 純一 (ボーカル&ハーモニカ&パーカッション)

全盲に加え、手足も不自由なため、一般的な奏法は不可能だが、創意工夫で生み出した独自のプレイスタイルから繰り出されるサウンドは必聴。

スティービーワンダー、村上ポンタ秀一、桑名正博など、さまざまなミュージシャンとのセッション経験を持つ。

その他、NHK番組のバリバラにてお笑いで準グランプリを受賞、M-1グランプリで2回戦進出、KBSラジオで4年間メインパーソナリティを務めるなどの経験もあり、学校や、企業などでの講演も好評を得ている。



©大高英樹

活動スケジュール

現在レコーディング作業中。完成後、各地でライブ予定！演奏のご依頼お待ちしております！



インタビュー



©川津貴信



©大高英樹

Q 1. 10周年記念ゴールドコンサートでの演奏に「やりたい放題 Music！」を選んだ理由をお聞かせください。

そもそも「やりたい放題 Music！」は、グランドチャンピオン大会に向けて作った楽曲です。音楽だけはフリーダム！だという想いをこの楽曲に詰め込みました。

Q 2. グランドチャンピオンを受賞されて、どのようなお気持ちでしたか？

実質10年間のゴールドコンサートの頂点を定める大会とすることで、かなりの想いで臨みましたので、本当に嬉しかったです！

僕があのように音が出せる

ようになるまでには、いろんな創意工夫が必要で、それを支えてくれた方たちへの感謝と、その方たちや、応援して下さったファンの皆さんの期待に少しは答えられたかなというほっとする気持ちにもなりました。

Q 3. 今後どのような活動をしていくのかお聞かせください。

少なくともこの日本においては音楽の世界でも存在している障害者枠のような物を僕の音楽で吹き飛ばしたいですね！

ステージの上では、障害者も健常者もなく、ガチですから！

そして、みんながハッピーになれる瞬間をより多く生み出していきたいです！！



©川津貴信

Interview

日比谷公園ブース・コンサート開催報告

ゴールドコンサートもフュージョンマーケットがあれば雨が降ったって
風が吹いたって日比谷公園でハッピーになれるかも

日時：2014年3月15日(土) 日比谷公園噴水前広場
障がい者団体、企業などがブースを出展するイベントの開催

【概要】

日比谷公園噴水前広場／時間：10時から16時

【ブース出展者】

- ・ゴールドコンサート出場者によるミニコンサート
 - ・ゴールドコンサートの紹介
 - ・ジョイスティック車の展示
(NPO 法人日本バリアフリー協会)
 - ・デンマーク、エグモントホイスコーレンでの留学体験の紹介
(エグネット)
 - ・口と足で描く芸術の展示、販売(口と足で描く芸術家協会)
 - ・NPO 法人ココロのバリアフリー計画の活動紹介、
車椅子体験会(NPO 法人ココロのバリアフリー計画)
 - ・NPO 法人「さくら・車いすプロジェクト」の紹介、
車椅子試乗(有限会社さいとう工房)
 - ・ポータブル手動運転装置取り付け車の展示(nikodrive)
 - ・車椅子ソフトボールの普及および2020年パラリンピック
正式種目化活動紹介
(一般社団法人日本車椅子ソフトボール協会)
 - ・車いす占い師のタロット占い(美雨)
 - ・ひのきネームプレートや小物の販売(一般社団法人モリス)
- 助成：日本財団



日比谷公園噴水前広場野外特設ステージ
ゴールドコンサート受賞者による
ミニコンサートの開催

【出演者】

- ・Out of Tune (第6回ゴールドコンサート特別出場)
- ・佐藤 英里 (第9回ゴールドコンサートグランプリ)
- ・山下 純一 (10周年記念ゴールドコンサートグランドチャンピオン、
第6回ゴールドコンサートグランプリ)
- ・穴澤 雄介 (第7回ゴールドコンサートグランプリ)

【司会】 村松 加王里

【PC文字通訳】 PC字幕 [Flex]

【手話通訳】 一般財団法人 トライアングル金山記念聴覚障害児教育財団



※これらについては日本財団、日本音楽財団、厚生労働省の助成金により運営しました。

厚生労働省委託事業報告書

平成 25 年度障害者総合福祉推進事業採択
「舞台芸術の鑑賞と表現における
社会参加の課題と提言」

現状と課題

我が国の舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の現状は、我が国が批准している国連の障害者権利条約の基準、また先進諸国の例と較べるとかなり遅れていることが明らかになった。

「鑑賞」においては特にソフト面が、「表現」においてはソフト、ハード両面においてその傾向が目立った。全体を通しての最大の課題は、表現者が日常生活、表現活動をする上で、外出時のサポートから、ステージへの登壇まであらゆる段階で社会的障壁があるために、著しく限られた活動しかできないという点である。そのため、表現はバンドやチームで行うのではなく、どちらかというパソコンによる打ち込み、持ち歩きの出来る楽器の使用など、個人の限られた方法の人が多くいようである。

「鑑賞」においての最大の課題は、障がいをもつ鑑賞者の権利がそうでない者と較べて認められていないということである。顕著な例として、車いすの鑑賞者が同じ料金を支払っても、事前に指定席を確保できない仕組みになっているために、同行者全員と同じエリアで鑑賞することができないというものがある。

政策提言

我が国の障がい者が国連の障害者権利条約を基準として、舞台芸術を他の者と平等な社会環境を達成するために、優先順位をつけ4つの政策提言をしたい。

【提言 1】「鑑賞」における合理的配慮についてのガイドラインの策定

舞台芸術を表現するためには、他者の表現を生で見参考にし、刺激を受ける必要があるのは自明のことである。

よってまず「鑑賞」において、これまで主催者によって違ってきた合理的配慮 についてルールを決めることを [提言 1] としたい。

【提言 2】「利用者自薦のパーソナルアシスタント」制度の創設

次に、障がい者が、舞台芸術を表現することそのものについてだが、議論を2つに分ける必要がある。

障がい者が社会参加をするための課題、および舞台芸術の分野における独特の課題である。このうち、前

者について「利用者自薦のパーソナルアシスタント」制度の創設を [提言 2] としたい。

【提言 3】 中小規模の舞台芸術の施設、および民間施設への助成金制度の創設

障がい者が社会参加をするための課題解決に向けてもう1点提言する。

我が国の現行のバリアフリー法においては、公共性が高い大規模で新しい施設を中心にバリアフリー化を進める方針である。そのため、公共交通機関や巨大な複合施設が集中する大都市において、世界でも最もバリアフリー化が進んだ地域の1つとなった。

しかし、既存の中小規模の民間のレストランや店舗については、規制はないに等しく、非常に遅れているのが現状である。

【提言 4】 楽屋、舞台のバリアフリー化促進

最後に、舞台芸術「表現」の分野における独特の課題についての解決の提言をしたい。舞台芸術が「表現」可能な会場のバリアフリー化については、「鑑賞」するための客席については著しく整備されているが、楽屋や舞台においては整備が非常に遅れているという分析結果が認識された。すなわち、障がい者が舞台に出場するという前提が、会場の管理者にとってそもそも希薄だという意識レベルである。

(舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の課題と提言報告書より一部抜粋)

厚生労働省

平成 25 年度障害者総合福祉推進事業

「舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の課題と提言」報告書をご希望の方は事務局までご連絡ください。



第11回ゴールドコンサート協力者の皆様 (2014年6月30日時点)

補助事業

公益財団法人 JKA

後援

厚生労働省
文部科学省
東京都
千代田区
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
全国自立生活センター協議会
全国特別支援教育推進連盟
社会福祉法人鉄道身障者福祉協会
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロビー協会

助成

公益財団法人日本社会福祉弘済会(関西予選)

主催

NPO 法人日本バリアフリー協会

協賛 (50音順)

アドビ システムズ 株式会社
株式会社大塚商会
公益財団法人オリックス宮内財団
関西学院大学
キッコーマン株式会社
協友印刷株式会社
株式会社グッドマンサービス ユニバーサルツリズム
株式会社 KDDI チャレンジド
国際ソロプチミスト川崎
株式会社コヤマドライビングスクール
J-Workout 株式会社
日本コムシス株式会社
日本信号株式会社
株式会社日本テレソフト
ノーベルファーマ株式会社
パイオニア株式会社
ファイザー株式会社
株式会社フォーシーズ
有限会社フジオート FUJICON
Meiji Seika ファルマ株式会社
明治安田生命保険相互会社
株式会社モンベル
医療法人和楽会

協力<企業・団体>

株式会社アルファビート
株式会社エイチ・アイ・エス バリアフリートラベル専門デスク
FMC ワッホー編集部
キュービーグループ マッチングギフト「QPeace」
株式会社Jストリーム
シャープ株式会社
社会福祉法人太陽会 しょうぶ学園
デンマーク筋ジストロフィー協会
栃木煎餅 こめの里本舗
とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI
NPO 法人日本バリアフリー政策研究所
パンローリング株式会社
株式会社メディカルフォーラム
六本木 Blues Dog Café

実行委員会

実行委員長 貝谷 嘉洋
NPO 法人日本バリアフリー協会代表理事

委員	安藤 貴子	丹羽 真規	鈴木 雅弘
	植田 誠	迫 まりあ	関口 京子
	大山 絲子	韓 星民	相馬 優一郎
	織田 友理子	福島 浩太	高野 康子
	北川 知彦	棒谷 愛子	寺田 雅美
	金 美寧	堀越 美江	中根 克
	小西 明宏	松繁 卓哉	中村 辰男
	篠原 智子	宮下 あけみ	西口 久美子
	島村 かおり	山崎 等	布川 清彦
	下村 大介	渡邊 武晴	濱田 朝美
	須藤 貴士	大木 聖薫	半田 朋美
	関本 友紀	岡部 寛美	福島 敏子
	十川 奈美子	柏木 雅枝	堀 隆三
	田中 裕美	小酒 真由子	前川 めぐみ
	近見 勇生	斎藤 日登美	三田 隆広
	土井 葉月	嶋川 史剛	村松 加王里
	中村 公一	清水 育美	山本 真也
	成澤 俊輔	須江 好美	

事務局 貝谷 嘉洋
諏訪間 裕子
高瀬 舜
高橋 純代
日比野 悟知
村上 恭子

組織委員会

会長	野田 聖子 衆議院議員
名譽顧問	エーバルド・クロー デンマーク筋ジストロフィー協会 会長
顧問	長谷川 岳 参議院議員 平松 一夫 関西学院大学 教授
理事	荒 義彦 アレクサンドル 株式会社ウィルビー・インターナショナル セールスマネージャー 伊藤 和博 今福 義明 アクセスジャパン 代表 奥山 俊博 東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員 貝谷 嘉洋 NPO 法人日本バリアフリー協会 代表理事 金子 秀明 株式会社日本テレソフト 社長 小林 るつ子 玩具福祉学会 理事長 斎藤 省 有限会社さいとう工房 社長 鈴木 麻美子 株式会社マグナ 代表取締役 高木 真 財団法人日本チャリティ協会 高橋 久 高橋 実 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 理事長 高橋 陽子 公益社団法人日本フィランソロビー協会 理事長 竹中 ナミ 社会福祉法人プロップステーション 理事長 寺田 学 株式会社 CMS コミュニケーションズ 代表取締役社長 仲川 一昭 福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響(ゆら)」代表・指揮者 長崎 栄 株式会社ダイレクト インブット 西野 弘 株式会社プロシード 社長 野澤 勝 株式会社コヤマドライビングスクール 総務人事部長 Peter David Pedersen 株式会社イースクエア 代表取締役社長 馬渡 徹郎 NPO 法人音の羽根 理事長 宮本 修 株式会社光文社 安田 武晴 読売新聞 山下 桜 パイオニア株式会社 吉井 勇 株式会社ニューメディア 月刊ニューメディア 編集長 吉井 康雄 株式会社スポーツニッポン新聞社



10周年記念ゴールドコンサート(2013年)協力者の皆様

50音順(後援を除く)(以下、敬称略)

補助事業	協賛<企業・団体>	協力<企業・団体>				
公益財団法人 JKA	アステラス製薬株式会社 アドビ システムズ 株式会社 株式会社大塚商会 公益財団法人オリックス財団 関西学院大学 キッコーマン株式会社 キュービーグループマツチングギフト「QPeace」 グラクソ・スミスクライン株式会社 株式会社 KDDI チャレンジド 国際ソロプチミスト川崎 株式会社コヤマドライブングスクール 損保ジャパンちぎゅうくらぶ 東神電気株式会社 トルコ航空 日本コムシス株式会社 日本信号株式会社 株式会社日本テレソフト ノーベルファーマ株式会社 パイオニア株式会社 ファイザー株式会社 株式会社フォーシーズ 有限会社フジオート FUJICON 株式会社フジテレビジョン Meiji Seika ファルマ株式会社 明治安田生命保険相互会社 株式会社モンベル 医療法人和楽会 他 匿名希望 1社	株式会社アルファビート いっぽ 株式会社エイチ・アイ・エス FMC ワッホー編集部 株式会社Jストリーム シャープ株式会社 社会福祉法人太陽会 しょうぶ学園 スタンダードチャータード銀行 デンマーク筋ジストロフィー協会 東京地下鉄株式会社 栃木煎餅 こめの里本舗 とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI NPO 法人日本バリアフリー政策研究所 NEW HERITAGE THEATRE GROUP パンローリング株式会社 株式会社ファーストシステムコンサルティング 三菱UFJ 信託銀行 株式会社メディカルフォーラム 株式会社 矢島聴子事務所 株式会社レイジースーザン 六本木 Blues Dog Café 他 匿名希望 1社				
後援						
厚生労働省 文部科学省 東京都 千代田区 米国大使館 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 全国自立生活センター協議会 全国特別支援教育推進連盟 社会福祉法人鉄道身障者福祉協会 日本音楽財団 一般社団法人日本筋ジストロフィー協会 公益社団法人日本フィランソロビー協会						
助成						
PIVOT 基金 他 匿名希望 1社						
主催						
NPO 法人日本バリアフリー協会						
協賛<個人>						
新居 倫子 安藤 勇寿 伊藤 基江 今泉 至明	浦田 泉 大木 聖薫 大島 博 奥林 群司	加藤 喜昭 河端 静子 北原 恵美 久保木 富房	小西 光男 佐々木 司 清水 育美 清水 千佳代	竹田 保 林 正栄 福澤 利夫 福島 浩太	福島 敏子 細川 佳代子 吉井 勇 吉崎 久江	吉崎 英雄 吉田 栄治 他 匿名希望 15名

平成 25 年度 競輪補助事業完了のお知らせ



この度平成二十五年度の競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。

記

- 一 事業名
平成二十五年度 障がいのある人が
幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業
- 二 事業の内容
10周年記念回ゴールドコンサート
- 三 補助金額
五五三九〇一八円
- 四 実施場所
東京国際フォーラム ホールC
- 五 完了年月日
平成二十六年二月十二日

(特非) 日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷 嘉洋



©太高英樹

ボランティアスタッフ募集のお知らせ

障がいをもつミュージシャンの音楽イベント「第11回ゴールドコンサート」の運営を有志でお手伝いしていただける方を探しています。(昨年、学生さんから社会人の方まで約200名の方にご参加いただきました)

日時 _____
2014年10月13日(月・祝) 9時頃から21時頃

終日お手伝いいただける方
ただし仕事内容によっては時間が早まったり、お昼からの参加となったりする場合があります。
事前準備の段階からご参加いただける方も併せて募集します。

会場 _____
東京国際フォーラム ホールC【最大座席数1,502席】
(東京都千代田区丸の内3-5-1)
JR線 有楽町駅より徒歩1分、東京駅より徒歩5分

仕事の内容 _____
障がいをもつ出場者や舞台裏の手伝い、来場者の受付・案内、機材の搬入搬出、会場警備、レポート係、その他
当日までの準備[ご参加いただける方]
※事前説明会を予定(10月)
※経験は問いません。障がい者の方も歓迎。
※手話、英語、韓国語の出来る方歓迎

コンサート当日の諸条件 _____
ボランティア保険: 万一の事故に備え、主催者側で一括加入。
弁当・飲み物支給あり、交通費の支給なし

実行委員の募集も行っております。

第11回ゴールドコンサートの事前準備から参加いただける方も募集しております。企画・告知宣伝・当日運営などの主導的役割を務めていただきます。詳しくは右記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

NPO 法人日本バリアフリー協会 ゴールドコンサート事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16
ビュロー平河町801号
電話 03-5215-1485 FAX 03-5215-1735
E-mail: volunteer@npjba.org URL: http://www.npojba.org

ご希望の方は下記申込書にもれなくご記入の上、事務局までFAX又はメールでご送付下さい。
(※応募者多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります。)

第11回ゴールドコンサートボランティア申込書		締切	2014年8月20日(水)
送付先	Fax: 03-5215-1735 または Email: volunteer@npjba.org		
(フリガナ) ※氏名		性別	男・女
	当協会ホームページ上・会報等で名前の掲載は可能ですか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	年齢	
	当協会からお知らせ(ご案内・活動報告等)をメールにてお送りしてもよろしいですか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		
※連絡先	〒		
	連絡には主として「Eメール(パソコン)」を使用しますが、支障のない限り下記連絡先は全てご記入下さい。		
	Eメール(パソコン)	携帯電話	
	Eメール(携帯)	FAX	
	情報量の多いご案内もあるため、出来る限りEメール(PC)のご利用をお願い致します。ご連絡を頂いてから1週間以上たっても登録完了のお知らせがない場合には事務局までご連絡下さい。		
勤務先・学校名(その他)			
※参加可能な時間: (次の1,2のなかで該当するもののみを残す)	1. 事前の準備(2014年7月~コンサート当日まで間の都合のつく時)から参加したい。 2. 2014年コンサート当日 終日(9:00頃~21:00頃)のみ参加を希望 ※お仕事内容によっては7:30集合となります。		
☆質問1から3にお答え下さい	1. ボランティア経験はありますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		
	2. 過去にゴールドコンサートを手伝ったことがありますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		
	※あると答えた方は第何回のゴールドコンサートですか? _____ 回目		
	3. その他経験内容(手話等)		
◎ その他特に伝えておきたい点など			

※がついているところは必須項目です。(当法人が開催に関わる事業の連絡以外にご記入頂いた個人情報が使われることはありません。また、情報の漏洩を防止するため、必要な措置を講じ、個人情報を適切に管理いたします。)

第11回

ゴールドコンサート

日時 平成26年10月13日(月・祝)

15:30 開場 / 16:30 開演

会場 東京国際フォーラム ホールC

座席

ゴールドシート指定(特典付)	8,000円
SS席指定	4,000円
S席指定	3,500円
A席自由(高校生以下無料)	2,000円
車いす席指定	2,000円

チケット発売中

チケット申込み
0570-02-9999
 《Pコード 235-808》

※ 無料席・車いす席・磁気誘導ループ(S席一部対応)・補助犬帯同をご希望の方は事務局に要事前申込。

※ 必要な方介添者1名無料

※ 手話通訳・パソコン文字通訳あり。

※ ご希望の席をご用意できない場合があります。

高校生以下無料招待

高校生以下の児童・生徒の皆様をA席(自由)に無料招待しています。子供たちに障がい者の活躍する姿を見てもらい、理解を深めてもらえれば幸いです。なお、事務局に事前申込みが必要です。

※ 引率率はA席(自由) ¥2000/枚のチケットのご購入が必要となります。

合理的配慮・情報保障について

当日は車いす席、磁気誘導ループ、手話通訳、パソコン文字通訳、点字チラシ、点字プログラムも用意しており、障がいを持つ皆様楽しんでいただけるよう準備しております。

インターネット生放送

会場に来られない方のためにインターネット生放送を行います。当日のゴールドコンサートの模様を全世界に向けて配信いたします。下記アドレスにアクセスして御覧ください。

URL: <http://gc.npojba.org/live>

日時: 平成26年10月13日(月・祝) 16:30よりスタート

<発行所> 〒157-0037 東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 50円

編集人 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16 801号

特定非営利活動法人日本バリアフリー協会代表理事 貝谷嘉洋

印刷協力: 協友印刷株式会社



「第11回ゴールドコンサート」事業は、競輪の補助を受けて実施します。

お問合せ

NPO法人日本バリアフリー協会
 ゴールドコンサート事務局

〒102-0093
 東京都千代田区平河町1-7-16 801号
 TEL:03-5215-1485
 FAX:03-5215-1735
 E-mail: info@npojba.org
 URL: <http://www.npojba.org>

